

令和8年度学校評価実施計画

学校名	国東高等学校
-----	--------

前年度評価結果の概要	<p>昨年度は全教科・全学科による学力向上に向けた取組を策定し、4月から取り組んできた。また、研修と研究授業を通じて授業改善を推進し、指導と評価の一体化など、評価の改善にも取り組むことで、生徒の学習意識と学力向上に取り組んできた。授業アンケートでは達成指標の目標値に近い数値を達成している。学びの基礎診断ツールにおいて、学習到達ゾーン(GTZ)上昇者については普通科、専門学科ともに目標が達成できておらず、授業理解が学力向上へつながるよう今後も取り組みを進めていきたい。自己指導力については目標の95%に届かなかったものの、93.5%と高いアンケート結果であった。生徒会活動の活性化も含め、生徒が主体的に取り組む学校づくりにより、「学校充実度」や「国東高校が好き」の上昇にも取り組んでいきたい。悩みや困りを抱えた生徒への対応については、保健・教育相談、学年がチームとして取り組むことで解決に繋げてきた。今後も生徒への支援を継続し、生徒全員が安心して通うことのできる学校環境づくりを推進したい。探究の学び、課題研究を中心として、新たな価値の創造を目指し、宇宙視点で地球課題の解決に取り組む宇宙関連学習を推進していく。</p>
------------	---

学校教育目標	中期目標	重点目標
「鍛え磨く 探る 挑む」を体現し、豊かな心を育むとともに、先端的・協働的な学びを通して地域・日本・世界を支え、持続可能な社会の創り手として必要な力を育成する。	I 主体性・創造性・探究心・挑戦心を持った生徒の育成 II 他者を思いやり、人権を尊重する生徒の育成 III 地域連携を通じた社会を支える人材の育成	(1)【鍛え磨く】行動力・協働力・忍耐力の向上 (2)【探る・挑む】課題解決力・判断力・創造力・自己理解力・挑戦力の向上 (3)【豊かな心】思いやる力・コミュニケーション力の向上 (4)【Well-being】ワークライフバランスの向上

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
(1)【鍛え磨く】 行動力・協働力・主体性の向上	生徒授業アンケート(7月・12月)において ・授業の内容が理解できる「そう思う(積極的肯定)」60%以上 学びの基礎診断ツールにおいて ・普通科進学コース(GTZ)Bゾーン以上40%以上 ・専門学科及びコース(GTZ)Cゾーン以上30%以上 ・生徒会活動、部活動への積極的な参加 85%以上	① 授業のアップデート	・各教科・学科会議で「効果的な発問」に関する協議を6回実施 ・各教科・学科会議で策定した「学力向上の取組」に関する協議を6回以上実施	PL:指導教諭 SL:教務主任 SL:学科・教科主任
		② 学習習慣の定着	・学習時間調査結果を用いた面談の実施(学期に一回) ・家庭学習時間上昇に向けた夢道塾の利用率30%以上	PL:教務主任 SL:進路指導主任 SL:学年・学科・教科主任
		③ 主体的・自治的な生徒の活動の推進	・部活動主将集会各学期実施 ・生徒会協議会の開催 ・避難訓練(1・2学期)	PL:特別活動主任 SL:防災教育C SL:学年・学科主任
(2)【探る・挑む】 課題解決力・判断力・創造力の向上 自己理解力・挑戦力の向上	生徒の生活実態アンケート(6月・10月・1月)において ・総合的な探究の時間、課題研究などの学びが自己の成長に役立っている。85%以上 生徒の生活実態アンケート(6月・10月・1月)において ・自己の将来の夢や進路について考えている。90%以上 ・自己指導力を身に付けたと感じる 95%以上	① 探究学習の推進(課題研究、総合的な探究の時間等)	・宇宙STEAM探究・SPACE探究の外部講師招聘年間4回以上 ・探究の学びを踏まえた課題研究の取り組み(地域等の課題を探究した生徒の割合80%)	PL:探究主任・学科主任 SL:学年・学科主任
		② 主体的に自己の将来を考えるキャリア教育の推進	・進路講演会年4回以上、進学ガイダンス全学年実施 ・インターンシップ、企業見学、企業説明会等へ参加3回以上	PL:進路指導主任 SL:学年・学科主任
		③ 自己指導力の育成	・国高スタンダード(生活編)頭髪・服装検査2か月に1回	PL:生徒指導主任 SL:学年・学科主任
(3)【豊かな心】 思いやる力・コミュニケーション力の向上	生徒の生活実態アンケート(6月・10月・1月)において ・悩みや困りを相談できる先生がいる。80%以上 生徒の生活実態アンケート(6月・10月・1月)において ・自己肯定感がある 80%以上 ・学校生活が充実している 93%以上 ・国東(地域)に魅力を感じている 85%以上	① 人権教育と生徒支援体制の確立	・人権HRAや人権研修会などの研修を各学期2回以上実施 ・人権教育会議、いじめアンケート、いじめ対策委員会の計画的実施 ・教育相談委員会やケース会議、学年会議等生徒情報共有の会議を月1回以上	PL:保健・教育相談・人権教育主任 SL:学年・学科主任
		② 地域や学校への誇りを育む教育の推進	・地域と連携した取り組みを各専門学科及びビジネスITコースで年3回以上 ・地域貢献活動・ボランティア等の参加 年間一人一回以上	PL:学科主任・特別活動主任 SL:分掌主任
(4)【Well-being】 ワークライフバランスの向上	・時間外勤務月45h未満 80%以上 ・年休取得 平均12日以上(年間)	① 超過勤務時間の削減	・学校運営協議会において「働き方改革」を協議題として実施 ・目標管理における自己目標の設定と面談による対策の計画 ・行事の精選や統合の推進 ・部活動方針(週休日)の徹底	PL:管理職 SL:主幹教諭 SL:特別活動主任
		② ICT活用による業務効率化と健康・福祉の増進	・校務のDX化の推進(AI活用80%、PDF資料配布、各種調査・アンケートのデジタル化) ・定期健康診断および精密検診の受診 100%	PL:管理職 SL:主幹教諭 SL:衛生管理者、情報化推進教員